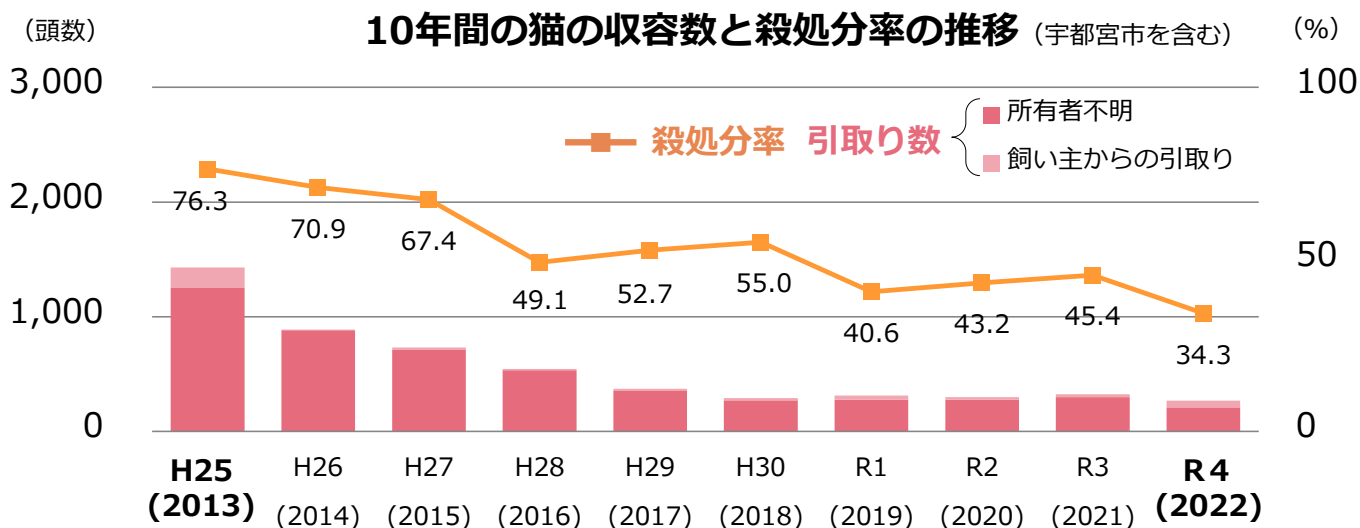


栃木県の現状（猫）

猫の引取り数・殺処分数は減少しています

- 猫は、犬とは異なりけい留しなければならない法的な規制がなく、外飼いでいる飼い主もいるため、栃木県動物愛護指導センターをはじめ、**行政機関が猫を捕獲して収容することはありません。**
- 捨てられたり、親猫からはぐれてしまった等、**飼い主不明の生まれたばかりの子猫（幼齢猫）**は、そのままでは自活できないため、**安楽殺処分を前提に引取り**することがあります。



1,428 頭

猫の引取り数：約**80%**減少

268 頭

177 頭

飼い主からの引取り数：**大幅に減少**

60 頭

1,090 頭

猫の殺処分数：**大幅に減少**

92 頭

- **殺処分となる猫の多くは幼齢猫**で、その多くは野良猫などが産んだ子猫です。野良猫には無責任なエサやりをせず、不幸な猫を生み出さないようにしましょう。
- 飼い猫には**不妊去勢手術**を済ませた上で、**室内飼い**により望まない繁殖を防ぎましょう。

